

# 『せん妄・認知症ケアプロジェクト』 新しい仲間を募集中! ボランティア活動 はじめてみませんか?



病院に入院すると、いつもとちがう環境で治療を受けるため、意識がぼやけたりする『せん妄』になることがあります。そのとき大事なのは、普段の暮らしに近づけることです。

そこで、地域の皆さんと医療者が共に取り組む『せん妄・認知症ケア』プロジェクトを立ち上げました。実際にボランティアが活動中の病院では、患者さんの症状が改善しています。

地域の活性化にも貢献するこのプロジェクトでは、新しい仲間を募集しています。ぜひご参加いただき、一緒に患者さんの暮らしに寄り添うケアを行いましょう!

共に  
ケアする

ボランティアさんの声



仕事とは違う立場で、普通の人がつづに聞くことが大事だと思います。その人の感情を大切にしたいと思っています。  
(ごもとさん)

患者さんの手を握ってお話を聞くと、その人の素顔が見えてくる。この活動を通じて、自分自身の心の引き出しもふえていっていると感じます。  
(まつうらさん)

頑張って生きてこられた方々のお話を伺うと、これからの人生に対する不安が和らぎ、安心感が得られます。それは素晴らしい体験です。  
(おおえさん)

活動の  
流れ

きゅうちゃん



京都の池庭で暮らすカッパ。  
好物: きゅうり。親友: タヌ吉(たぬき)。のんびりしていますが、高齢者がこまっている時にはマッハ速度でかけつけます

STEP  
1

ボランティア講座をご予約ください

STEP  
2

講座を1回(90分)受講いただきます

STEP  
3

活動日を選択していただきます

ボランティア講座の詳しい内容は裏面をご覧ください。



連絡先

生協 にじのボランティア  
尼崎医療生協病院 管理室  
TEL 06-6436-1701  
小林 川野



# ボランティア講座



講師は、医師、看護師、  
ソーシャルワーカー  
などが担います。

日時

1月16日(金) 2月20日(金)  
13時～15時

開催場所: 尼崎医療生協病院内

日程が合わなければ、別途ご相談ください

\* 1週間前までに申し込みをしてください

## 講座内容

### ボランティア活動・役割について

その他の内容: コミュニケーション、個人情報保護、感染予防

### 高齢者のせん妄の理解・対応について

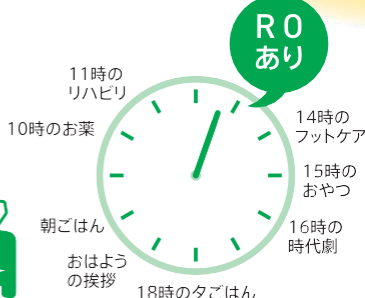
その他の内容: 高齢者の心身の特徴、認知症ケア、回想法

ボランティア保険の  
ご案内をさせていただきます。

こんなことを  
しています

## 活動事例

- 病室の環境を整える
- 補聴器やめがねの  
使用を促進
- 心配ごとに対応した  
関わり



【リアリティオリエンテーション】

…見当識障害を補い不安を緩和

場所  
連絡先

申し込みはこちらから  
尼崎医療生協病院

06-6436-1701

管理室 小林・川野



## 研究プロジェクト

「本取り組みは、尼崎医療生協病院が実施主体となり、京都保健会  
京都民医連中央病院の研究プロジェクトチームが構想した  
『入院中高齢者のケアプログラム』に基づいて行っています。」

高齢患者への住民ボランティアによるせん妄・認知症ケアの普及

### ■ メンバー構成

#### 【京都民医連中央病院】

- ・安東 一郎(精神神経科科長)
- ・谷田 静香(精神科医)
- ・布留川 美帆子(看護師長)
- ・倉田 幹子(事務)

#### 【太子道診療所】

- ・内田琢也

#### 【大学機関】

- ・京都大学大学院医学研究科  
社会的インパクト評価学講座  
西岡大輔(特定准教授)
- ・同志社女子大学大学院看護学研究科  
高齢者在宅看護学 小松 光代(教授)

■ せん妄・認知症ケアプロジェクト責任者 長谷川美智子

【お問合せ】 hasegawa\_michiko@kyoto-hokenkai.jp

ボランティアさんが  
関わると回復率が  
高まります!

むりなくLet'sきゅう!

